

厚生労働省北海道労働局発表
令和3年7月15日

担当
厚生労働省
北海道労働局労働基準部安全課
課長 八反田 健
副主任産業安全専門官 鍋岡 順子
代表電話：011-709-2311（内線 3552）
直通電話：011-788-6327

報道関係者 各位

令和3年の死亡労働災害による被災者は18人に

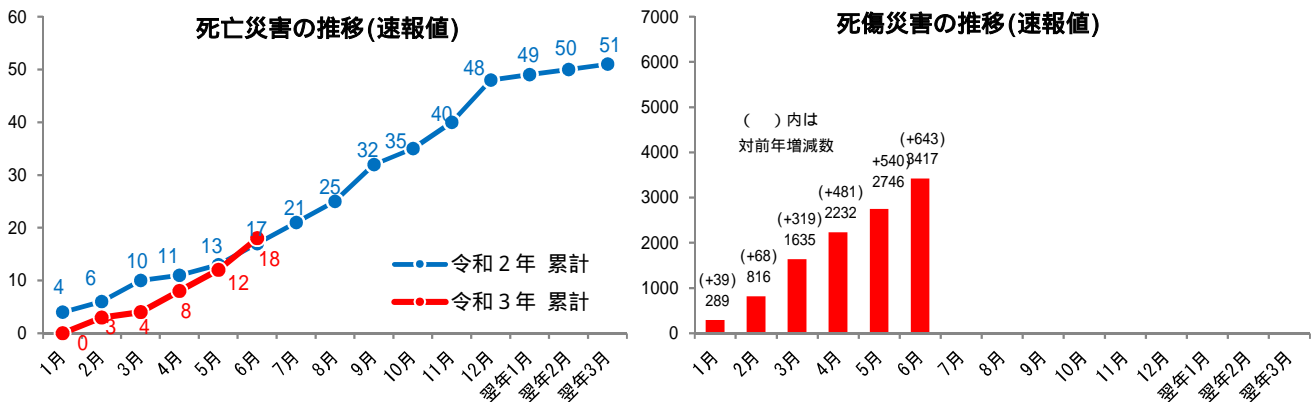
～令和3年の北海道内の労働災害発生状況(令和3年6月末現在速報値)～

北海道労働局(局長 ^{うえだくに}上田国土)は、令和3年の労働災害発生状況(令和3年6月末現在速報値)について取りまとめたので、その内容を公表します。

令和3年の死亡労働災害は6月に6件発生し、急増しています。この6件中3件は、土木工事業で発生しており、建設業においては注意が必要です。また、死傷災害も増加しており、事故の型別では、転倒災害が最も多く、これらのリスクを洗い出し、労働災害防止対策の徹底に留意する必要があります。

1 労働災害の月別推移

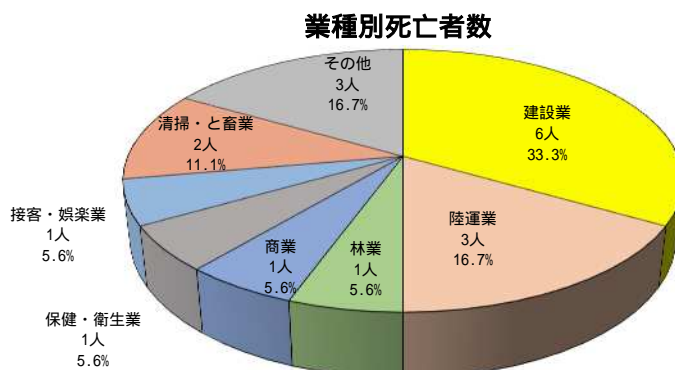
令和3年6月末現在の道内の労働災害による死亡者数は18人で、前年同期と比べて1人増加しています。休業4日以上の死傷者数は3,417人で、前年同期と比べて23.2%増加しています。



2 死亡災害発生状況(6月)

(1) 業種別の状況【資料番号1、2】

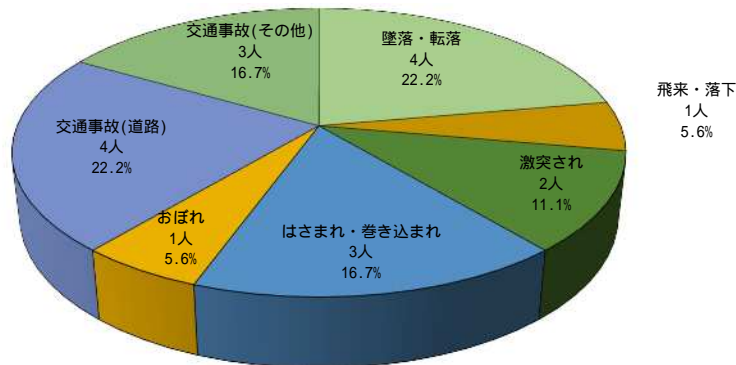
業種別では、建設業において6人とそれまでの3人から倍増しています。



(2) 事故の型別の状況【資料番号3】

事故の型別では、「墜落,転落」及び「交通事故(道路)」が各4人、「はさまれ,巻き込まれ」及び「交通事故(その他)」が各3人、「激突され」が2人となっています。

事故の型別死亡者数

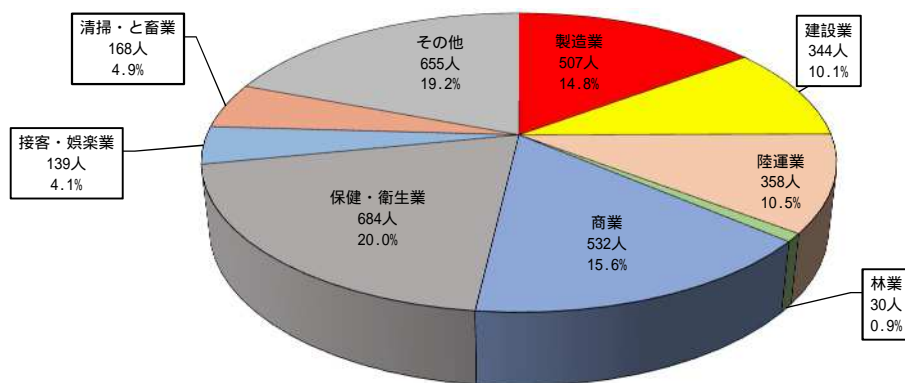


3 休業4日以上死傷災害発生状況(6月)

(1) 業種別の状況【資料番号4】

業種別では保健・衛生業が684人と最も多く、商業が532人、製造業が507人、陸上貨物運送事業が358人、建設業が344人の順となっています。

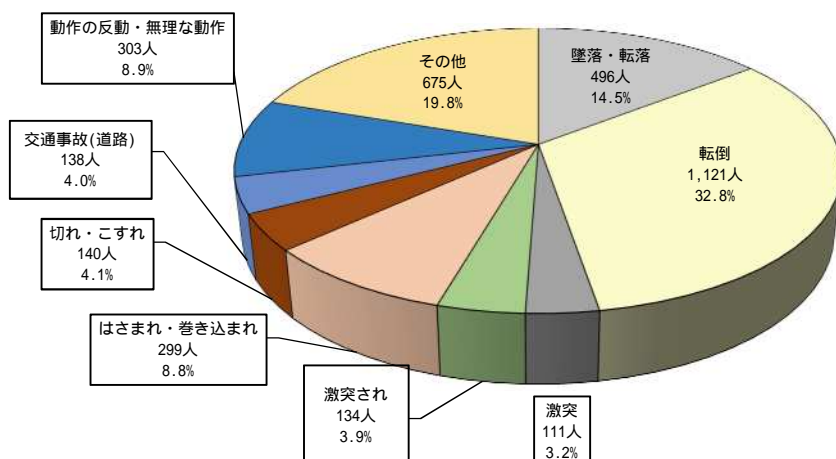
業種別死傷者数



(2) 事故の型別の状況【資料番号5】

事故の型別では、「転倒」が1,121人で最も多く、「墜落,転落」が496人、「動作の反動,無理な動作」が303人、「はさまれ,巻き込まれ」が299人、「切れ,こすれ」が140人の順となっています。

事故の型別死傷者数



4 北海道労働局の対応

北海道における労働災害防止のために、災害多発業種に対して業種ごとの災害特性に応じた重点的な災害防止対策を推進するほか、転倒災害等の業種をまたいで多発している災害についても災害態様に応じた災害防止対策を推進しています。

(主な取組の推進)

「第72回 全国労働衛生週間」

(本週間：令和3年10月1日～7日、準備期間：令和3年9月1日～30日)

北海道労働局では、企業をはじめ関係各界での労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の一層の促進を図るため、全国労働衛生週間の実施について各関係団体等に協力を依頼します。本年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、いわゆる、“3つの密”を避けることを徹底しつつ、各事業場の労使協力のもと、全国労働衛生週間の取組を進めます。

今年のスローガンは「向き合おう！ ことごとからだの 健康管理」です。

副スローガンは「うつらぬうつさぬルールとともに みんなで守る健康職場」です。

職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のため「取組の5つのポイント」を確認しましょう！

厚生労働省では、職場における新型コロナウイルス感染症対策の基本的事項である、取組の5つのポイントと感染防止対策の実践例を示し、事業場の実態に即した、実行可能な感染拡大防止対策の推進を呼びかけています。

参考：リーフレットのダウンロードはこちらです。

厚生労働省ホームページ内に移動します。

URL <https://www.mhlw.go.jp/content/000780503.pdf>

QRコード



○「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」（取組期間：令和3年5月1日～9月30日）
北海道労働局では、労働災害防止団体などと連携して、「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」を展開し、暑さ指数の活用のほか、こまめな水分補給、休憩時間の確保など、職場での熱中症予防のための重点的な取組を進めています。

【添付資料】

- 資料番号1 令和3年における死亡災害発生状況
- 資料番号2 令和3年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
- 資料番号3 令和3年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 資料番号4 令和3年 業種別労働災害発生状況（その1、その2）
- 資料番号5 令和3年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
- 資料番号6 令和3年 署別・業種別死亡災害発生状況
- 資料番号7 令和3年 死亡労働災害の概要（令和3年6月把握分）
- 資料番号8 令和3年 有害物質による急性中毒等発生状況

労働災害統計表について

各年の災害統計は、翌年3月末までに把握した12月末までの休業4日以上の災害情報を集計して、統計値を確定しています。

令和3年の災害統計は、令和4年3月31日以降に確定することとなります。

令和3年における死亡災害発生状況 [速報]

令和3年1月1日～令和3年6月30日

北海道労働局

業種	令和3年		令和2年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	18 (4)	100.0	17 (5)	100.0	1	5.9	2	16.7
製造業	()		2 ()	11.8	-2	-100.0	-2	-100.0
鉱業	()		()			-		-
建設業	6 (1)	33.3	6 (1)	35.3				
交通運輸事業	()		1 ()	5.9	-1	-100.0	-1	-100.0
陸上貨物運送事業	3 (2)	16.7	()		3	-	1	-
港湾運送業	()		()			-		-
林業	1 ()	5.6	3 ()	17.6	-2	-66.7	-2	-66.7
その他の事業	8 (1)	44.4	5 (4)	29.4	3	60.0	6	600.0

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の速報件数であり、昨年については集計期間中の確定件数である。

令和3年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

令和3年1月1日～令和3年6月30日

北海道労働局

業種	令和3年		令和2年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	8 (1)	100.0	5 (4)	100.0	3	60.0	6	600.0
小売業	()		1 (1)	20.0	-1	-100.0		-
医療保健業	1 (1)	12.5	()		1	-		-
社会福祉施設	()		()			-		-
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	1 ()	12.5	()		1	-	1	-
ビルメンテナンス業	1 ()	12.5	1 ()	20.0				
ゴルフ場の事業	()		()			-		-
警備業	()		1 (1)	20.0	-1	-100.0		-
農業・畜産業	()		()			-		-
水産業	3 ()	37.5	()		3	-	3	-
その他	2 ()	25.0	2 (2)	40.0			2	-

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の速報件数であり、昨年については集計期間中の確定件数である。

令和3年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況

令和3年1月1日～令和3年6月30日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号		1	2	3	4	5	6-2	7-2	その他 の事業 計	起因物番号																															
	業	種	製	鉱	土	道	陸	港	林		水	11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99					
事故の型	業	種	造	石	採	設	路	上	の	の	起	原	動	木	建	金	一	車	動	動	乗	圧	化	溶	炉	電	入	用	そ	仮	危	材	荷	自	そ	起	分					
1						1	1				4					1	1											1	1													
2																																										
3																																										
4						1					1																	1														
5																																										
6											2																										2					
7						1					3				1																											
8																																										
9																																										
10											1																															
11																																										
12																																										
13																																										
14																																										
15																																										
16																																										
17						1	2				4																															
18											3																															
19																																										
90																																										
99																																										
合計						6	3				18				1	1	1	1	1	3	5							2											3			

業種別労働災害発生状況 その1

令和3年1月1日～令和3年6月30日

北海道労働局

業種別	令和3年			令和2年			対前年		業種割合 (%)	令和2年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	18	3,399	3,417	17	2,757	2,774	643	23.2	100.0	51	7,684	7,735
製造業		507	507	2	465	467	40	8.6	14.8	6	1,138	1,144
食料品		269	269		229	229	40	17.5	7.9	3	606	609
木材・家具		53	53	1	55	56	-3	-5.4	1.6	1	90	91
紙・印刷		7	7		13	13	-6	-46.2	0.2		29	29
窯業・土石		21	21		14	14	7	50.0	0.6		42	42
金属・機械		60	60	1	74	75	-15	-20.0	1.8	1	189	190
その他		97	97		80	80	17	21.3	2.8	1	182	183
鉱業												
鉱山		1	1				1		0.0			
土石採取業		9	9		12	12	-3	-25.0	0.3	1	22	23
建設業	6	338	344	6	307	313	31	9.9	10.1	14	889	903
土木工事業	5	112	117	4	108	112	5	4.5	3.4	6	314	320
建築工事業		142	142	2	106	108	34	31.5	4.2	6	322	328
木造建築業		43	43		48	48	-5	-10.4	1.3		144	144
その他	1	41	42		45	45	-3	-6.7	1.2	2	109	111
交通運輸事業		124	124	1	104	105	19	18.1	3.6	3	211	214
陸上貨物運送事業	3	355	358		344	344	14	4.1	10.5	6	823	829
道路貨物運送	3	320	323		321	321	2	0.6	9.5	4	771	775
陸上貨物取扱		35	35		23	23	12	52.2	1.0	2	52	54
港湾運送業		13	13		9	9	4	44.4	0.4		18	18
林業	1	29	30	3	33	36	-6	-16.7	0.9	4	77	81
水産業	3	35	38		54	54	-16	-29.6	1.1	3	141	144
商業	1	531	532	2	459	461	71	15.4	15.6	4	1,126	1,130
清掃・と畜業	2	166	168	1	191	192	-24	-12.5	4.9	3	454	457
上記以外の事業	2	1,291	1,293	2	779	781	512	65.6	37.8	7	2,785	2,792

注1 本年の死亡災害件数は集計月に把握した速報値であり、昨年の件数は各月確定後の値である。

注2 休業災害については本年・昨年ともに労働者死傷病報告書(休業4日以上)により集計期間に把握した速報値である。

第13次労働災害防止計画進捗状況

6月末同月比

	死亡災害			死傷災害		
	被災者数	増減数	増減率	被災者数	増減数	増減率
基準年(平成29年)	35			2,585		
4年目(令和3年)	18	-17	-48.6%	3,417	832	32.2%

第13次労働災害防止計画の目標
平成29年と比較して令和4年までに…
・死亡者数を20%以上減少させる。
・死傷者数を5%以上減少させる。

業種別労働災害発生状況 その2

令和3年1月1日～令和3年6月30日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和3年			令和2年			対前年		業種割合 (%)	令和2年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業		36	36		24	24	12	50.0	1.1		100	100
畜産業		126	126		116	116	10	8.6	3.7	2	306	308
金融・広告業		26	26		19	19	7	36.8	0.8		41	41
映画・演劇業		2	2		2	2			0.1		4	4
通信業		83	83		74	74	9	12.2	2.4		160	160
教育・研究業		38	38		22	22	16	72.7	1.1		61	61
保健衛生業	1	683	684		265	265	419	158.1	20.0		1,470	1,470
接客娯楽業	1	138	139		130	130	9	6.9	4.1	1	323	324
その他の事業		159	159	2	127	129	30	23.3	4.7	4	320	324
合計	2	1,291	1,293	2	779	781	512	65.6	37.8	7	2,785	2,792

「第三次産業」の内訳

業種別	令和3年			令和2年			対前年		業種割合 (%)	令和2年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	1	531	532	2	459	461	71	15.4	15.6	4	1,126	1,130
うち 小売業		435	435	1	380	381	54	14.2	12.7	2	910	912
金融・広告業		26	26		19	19	7	36.8	0.8		41	41
映画・演劇業		2	2		2	2			0.1		4	4
通信業		83	83		74	74	9	12.2	2.4		160	160
教育・研究業		38	38		22	22	16	72.7	1.1		61	61
保健・衛生業	1	683	684		265	265	419	158.1	20.0		1,470	1,470
うち 社会福祉施設		427	427		176	176	251	142.6	12.5		771	771
うち 医療保健業	1	251	252		80	80	172	215.0	7.4		677	677
接客・娯楽業	1	138	139		130	130	9	6.9	4.1	1	323	324
うち 飲食店		63	63		55	55	8	14.5	1.8	1	142	143
うち 旅館業		34	34		32	32	2	6.3	1.0		89	89
うち ゴルフ場		16	16		12	12	4	33.3	0.5		38	38
清掃・と畜業	2	166	168	1	191	192	-24	-12.5	4.9	3	454	457
その他の事業		159	159	2	127	129	30	23.3	4.7	4	320	324
うち 警備業		39	39	1	37	38	1	2.6	1.1	1	91	92
合計	5	1,826	1,831	5	1,289	1,294	537	41.5	53.6	12	3,959	3,971

令和3年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

令和3年1月1日～令和3年6月30日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号											起因物番号											99 分類不能															
	1 製 業	2 鉱 業	3 土 石 採 取 業	4 建 設 業	5 道 路 貨 物 運 送 業	6 そ の 他 の 運 輸 交 通 業	7 陸 上 貨 物 取 扱 業	8 港 湾 運 送 業	9 林 業	10 水 産 業	11 そ の 他 の 事 業	12 起 因 物 計	13 原 動 機	14 動 力 機	15 木 材 加 工 機	16 建 設 用 機	17 金 属 加 工 機	18 一 般 動 力 機	19 車 両 系 木 材 伐 出 機 械 等	20 動 力 ク レ ン ン 等	21 動 力 運 搬 機	22 動 力 運 搬 機		23 乗 物	24 圧 力 容 器	25 化 学 容 器	26 溶 接 装 置	27 炉 ・ 窯 等	28 電 気 設 備	29 人 力 機 械 工 具 等	30 用 具	31 そ の 他 の 装 置 設 備	32 仮 設 物 ・ 建 築 物 ・ 構 築 物 等	33 危 険 物 ・ 有 害 物 等	34 材 料	35 荷 重 等	36 自 然 環 境 等	37 そ の 他 の 起 因 物
1 墜落・転落	60		4	123	92	6	3	2	1	3	202	496			14		1	1	3	97	5						2	2	126	9	194		3	5	33		1	
2 転倒	154		2	47	94	58	11	3	4	4	744	1121			3		3	1		12	15						5	17	33	11	390		12	11	579	5	24	
3 激突	17			11	16	5	2	1	1	7	51	111			2		3		1	15	12							5	13	11	34		1	7	6		1	
4 飛来・落下	27	1		23	14		2	1	7	3	36	114			1	2	1	6		5	7	1						8	20	10	8		20	14	10	1		
5 崩壊・倒壊	4			13	6			1	1		9	34															4	4		7		12	4	3				
6 激突され	23			15	15	1	3	1	7	5	64	134			2	8	1	1	1	8	14	4	1					9	14	3	5		8	2	52	1		
7 はさまれ・巻き込まれ	111		2	40	25	6	2	3	3	9	98	299	1	4	9	8	15	50	2	16	71	9	1		2	1		26	18	5	8		19	9	25			
8 切れ・こすれ	44			30	2	1			5		58	140			31		11	34		1							1	34	5	4	3		13		2	1		
9 踏抜き																																						
10 おぼれ											1	1																								1		
11 高温・低温の物との接触	19			4	1						14	38					1			2		1						4	14	1	3				7			
12 有害物等との接触	3			4								7																					6	1				
13 感電				1								1															1											
14 爆発											5	5														1							4					
15 破裂																																						
16 火災											2	2																					2					
17 交通事故(道路)	8			10	23	18	7				72	138			1				1	31	102															3		
18 交通事故(その他)										3	1	4											4															
19 動作の反動・無理な動作	28		1	13	34	12	5	1	1	4	204	303					2				6	2					5	10	5	31		4	23	28	15	172		
90 その他	9			10	1	17					432	469																							2	462	4	
99 分類不能																																						
合計	507	1	9	344	323	124	35	13	30	38	1993	3417	1	4	43	38	28	101	5	35	255	154	3		5	4	9	110	247	72	682	15	93	75	751	485	202	

令和3年 署別・業種別死亡災害発生状況

令和3年1月1日～令和3年6月30日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他 の事業	合計
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業		
署別													
札幌中央						1						1	2
札幌東												1	1
函館					1								1
小樽													
岩見沢													
旭川													
帯広												1	1
滝川													
北見					2	1							3
室蘭					1								1
釧路						1							1
名寄					1						3		4
留萌													
稚内					1								1
浦河													
苫小牧										1		1	2
倶知安												1	1
計					6	3				1	3	5	18

死亡労働災害の概要(令和3年6月把握分)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
3	6	13時台	医療保健業	300人以上	交通事故(道路)	乗物 231	社有車を運転して会社事務所へと戻る途中、差し掛かった交差点で右側から走行してきたワゴン車と出会い頭に衝突し、全身を強く打ち死亡したものの。
3	6	11時台	土木工事業	10人以上 29人	激突され	環境等 712	民有林において、当日までに伐木した木の枝払をチェーンソーで行っていたところ、作業区域に接していた立木が根むくれを起こし倒れ、当該木に激突された。災害当時は、強風が吹いていた(気象庁の記録によると、災害発生時刻の現場周辺の平均風速は、8.4m/s、瞬間最大風速は、15.9m/s)。
3	6	20時台	清掃・と畜業	300人以上	おぼれ	環境等 713	停電復旧工事の交通誘導員として入場していた被災者が、作業途中に行方不明となり、翌日、湖底で被災者が発見されたもの。災害発生当日、暴風雨であり、停電復旧作業の都合上明りが全て消されている状態であった。
3	6	15時台	土木工事業	30人以上 49人	墜落、転落	一般動力機械 169	用水路に沿って小型特殊農耕用トラクターを走行させ草刈作業を行っていた際に、トラクターが用水路側に横滑りしたため、ハンドルを切って元の位置に戻ろうとしたが、操縦席のある前方が用水路反対側を向いたことで、トラクター後方に取り付けられたモア(草刈り機用アタッチメント)が用水路に飛び出し、モアの重量を支えられずに、反転する形で用水路に転落したものの。
3	6	7時台	土木工事業	30人以上 49人	飛来、落下	用具 372	雨水管・ますの布設工事現場において、土留め壁として使用していた敷鉄板(長さ3m、重さ約800kg)をクレーン機能付きドラグ・ショベルにて吊り上げ、仮置き場に降ろそうと旋回したところ、途中で敷鉄板が地面に接触したことで玉掛用つりチェーンのフックから敷鉄板が外れ、付近で別作業を行っていた被災者が下敷きになったもの。
3	6	11時台	清掃・と畜業	30人以上 49人	はさまれ、巻き込まれ	建設用等機械 141	事業場敷地内において、同僚の運転するトラクター・ショベル(車両系建設機械、機体質量11t)が通過した後に、うつ伏せになって倒れている被災者が発見されたもの。倒れた被災者の頭部付近の地面には血痕が残っていた。トラクター・ショベルは敷地内の屋内保管ヤードから製品置場に向かってRPF(廃棄物固形燃料)を運搬する途中だった。

令和3年 有害物質による急性中毒等発生状況

北海道労働局 6 月末現在

	発生月	時刻	業種	規模	災害の状況	
1	2	9時台	食品製造業	100人以上	<p>二酸化炭素発生装置(石灰石とコークスを1日当たり90t燃焼させる装置)の消火及び同一系統内設備の水抜き作業が行われていた。水抜きの吸気口を確保するため、ガス洗浄装置(不純物除去)のマンホール(550mm)を開けたところ、当該装置内に残存していた一酸化炭素が噴き出し、これを吸引した被災者が、頭痛、めまい等の症状を訴えたもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>	
2	4	16時台	一般飲食店	10人未満	<p>被災者は、営業準備のため、厨房にて換気扇を稼働しないまま炭を焚いていたところ、めまい、吐き気、頭痛の症状を訴えた。その後3時間程更衣室で休憩したが、自力で動けなくなったため救急車を要請した。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>	
3	4	19時台	畜産業	10人以上 30人未満	<p>牛舎内にある牛乳処理室において、ミルカー洗浄のため、被災者は次亜塩素酸を含有するアルカリ性洗剤を所定のタンクから計量容器に注いだところ、計量容器内に残留していた酸性洗剤と混ざり発生した塩素ガスを吸入してしまい、被災したものの。</p> <p>[塩素ガス中毒:被災者1人(休業4日未満)]</p>	
4	6	21時台	その他の建設業	10人未満	<p>マンホール蓋の接触面のパッキンを交換する作業を行っていたところ、使用していた送気マスクの空気に高炉内部を冷却するための窒素が混入し、酸素欠乏症を発症した。災害発生直後に計測した送気マスクの供給空気の酸素濃度は16%であった。</p> <p>[酸素欠乏症:被災者2人(休業4日以上1名、不休1名)]</p>	
合計	発生件数	4	内訳	一酸化炭素中毒 2件 酸素欠乏症 1件 硫化水素中毒 0件 その他の中毒 1件		
	被災者数	5	内訳	死亡 0人 休業4日以上 3人 休業4日未満 1人 不休 1人		